

景観いわき 創刊号

平成 25 年 10 月発行



『景観いわき』発行の目的

いわき市では、市内の景観について、市民のみなさんに知っていただくため、また考えていただくために、このたび「景観いわき」を発行いたしました。

今後も、随時発行して参りますので、市民のみなさんにも、美しいいわきの景観について考えていただく機会になればと思います。



“景観”ってなあに？

“景観”という言葉に関しては、「景色、眺め、またその美しさ、自然と人間が入り交じっている現実のさま…等々」と、説明されています。また、同じような言葉として“風景”といった言葉も使われますが、これは「その場の情景、人の様子…等々」の意味で使われています。いずれにしても、人間と海・山・川といった自然、人間と道・建物等の工作物、といった関係のなかで、それを美しい、汚い、生き活きしている、懐かしい、などと感じること全てが“景観”そのものであり、とても広い範囲のものであると言えます。通常は景観形成、景観整備、景観行政などのように、私たちの行動により、その質が左右されるものを対象に考えられます。



〔写真〕

上：白水阿弥陀堂（内郷白水町）

下：酒蔵のある街並み（常磐下湯長谷町）



いわきの『美しい景観』

いわき市には、自然や暮らしの中に「美しい景観」が数多く存在しております。
ここでは、いわきの美しい景観の写真を紹介していきます。



「三崎公園から望む小名浜港」

小名浜港は、古くからいわき市の海の玄関口として栄えてきました。港周辺には、「アクアマリンふくしま」や「いわき・ら・ら・ミュウ」、「小名浜さんかく倉庫」などの観光拠点施設があり、平成 23 年には、国の国際バルク戦略港湾に選定されるなど、いわき市のシンボルのひとつとなっています。

東日本大震災では、津波による甚大な被害を受けましたが、当港への水揚げも再開され、小名浜港東港地区国際物流ターミナルの整備や小名浜港背後地の開発事業が進められているなど、復興に向けて、徐々に歩みを続けています。



10月4日は『都市景観の日』

毎年10月4日は、国土交通省が定めた「都市景観の日」です。皆さんも、自然や暮らしのなかにある景観について、色々考えてみましょう！

次号は、「いわき市の景観を守り育て創造する条例」の概要について、掲載する予定です。また、次号以降、みなさんのお勧めする景観を掲載させていただきたいと考えておりますので、是非ご紹介ください。なお、写真等のデータにつきましては、以下のメールアドレスまで送信してください。



〔編集・発行〕いわき市 都市建設部 都市計画課 景観係
Tel 0246-22-7512 fax 0246-24-4306
Email toshikeikaku@city.iwaki.fukushima.jp
HP <http://www.city.iwaki.fukushima.jp/machi/keikan/4862/index.html>